



2024年1月30日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 駅社員および新幹線・在来線運転士の保護メガネ着用の試行について

- JR東日本は、ホーム上の安全確認を行う駅社員および新幹線・在来線運転士について、視認性の向上と疲労軽減による更なる安全性の向上を目的として、保護メガネの着用を試行します。
- 信号機の現示など、色覚に影響をおよぼさない偏光レンズを使用した保護メガネの効果を検証し、他駅、他線区への導入を検討します。

### 1. 概要

ホーム上の安全確認を行う駅社員と新幹線・在来線運転士が、信号機の現示等に影響をおよぼさない偏光レンズを使用した保護メガネを着用し、以下の観点で効果を検証します。

- (1)直射日光や反射光等の眩しさを軽減することによる前方の視認性向上
- (2)直射日光や反射光等をカットすることによる疲労の軽減

### 2. 試行箇所と期間

下記記載の駅・線区にて検証を行います。

試行箇所	対象	試行期間
新宿駅	駅社員	2024年2月下旬～9月下旬
逗子駅	駅社員	2024年3月下旬～9月下旬
東北新幹線(東京～新青森)	運転士	2024年2月上旬～2月下旬
中央・総武線各駅停車(三鷹～千葉)	運転士	2024年3月下旬～9月下旬
奥羽本線(秋田～青森) 津軽線(青森～蟹田) 五能線(川部～深浦)	運転士	2024年2月上旬～2月下旬

### 3. その他

検証により着用の効果が得られた場合は、他駅・他線区への導入を検討します。



保護メガネイメージ  
(オーバーグラスタイプ)



保護メガネイメージ  
(クリップオンタイプ)



保護メガネ着用イメージ